令和８年１月７日（水）　第137号　https://niigata-educ.nein.ed.jp

新潟県立教育センターだより Niigata Prefectural Education Center

学び続ける教師

令和７年度　拓け未来の新潟

第19回 教育フォーラムを開催します！

令和８年１月23日（金）13：00～16：00

【動画配信によるオンデマンド方式】

○目　的

県立教育センターで実施している調査・研究の発表、教育課題についての講演及び教育現場で日々進められている実践研究の成果についての協議をとおして、新潟県の教育の方向性を考える。

○概　要

1　日　時　　令和８年１月23日（金）　13：00～16：00

2　日　程　　13:00～13:10　開会挨拶

13:20～14:40　講 演 会

講師　目白大学心理学部心理カウンセリング学科

特任教授　黒沢　幸子　様

演題　「不登校の子どもたちにできる支援と保護者とのよい関係づくり～解決志向を活かして～」

問題や原因探しではなく、リソース（できていること、強み）や望む解決の姿に焦点をあて、ともに未来に役立つ一歩を見出していく「解決志向アプローチ」の発想と技法を活かした子どもたちへの支援や保護者との関係づくりについて考えます。

14:40～16:00　分 科 会

A　主体的・対話的で深い学び

B　情報活用能力育成の推進

内容は、次ページをご覧ください。

○　参加申込について

右の二次元コードを読み込み、Google Formsからお申込みください。複数の参加者をまとめて申込みすることができます。申込済であれば３月末日まで視聴が可能です。

分科会の内容

【Ａ　主体的・対話的で深い学び】

令和の日本型学校教育においては、子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）の実現が求められています。本分科会では、「教師自身の学び（研修観）の転換」に焦点を当てて調査・研究を行い、主に次の二点について取り上げます。

一点目は、今年度新設された「個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅱ（実践編）」の研修の様子です。山梨大学准教授・三井一希様による「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するＩＣＴを活用した授業づくりのポイントについて紹介します。二点目は、上記講座を修了した先生方への取材を通して、教師自身の学びの転換に迫ります。先生方の意識の変容に着目し、その分析をとおして見えてきた「新たな教師の学びの姿」を紹介します。

【Ｂ　情報活用能力育成の推進】

本分科会では、「児童生徒の情報活用能力を育成するカリキュラム・マネジメント」をテーマに、小学校・中学校・高等学校それぞれの実践協力校における授業実践や校内研修の工夫を踏まえ、その育成の在り方を検討します。

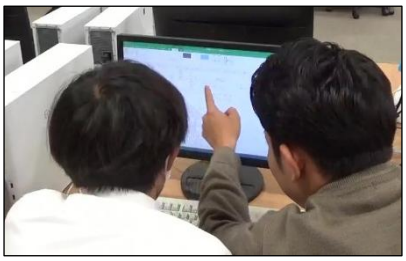
教育庁総務課が令和６年度に教員を対象に行ったアンケート調査によると、本県の児童生徒は、情報端末の基本的操作は概ねできるものの、情報を整理したり活用したりする能力に課題があることが分かりました。そこで、協力校の実践から、教科横断的に情報活用能力を高めていく視点や、校内体制整備の成果や課題を共有し、学校全体で計画的かつ継続的に育成していくカリキュラム・マネジメントの在り方を考えます。また、児童生徒の情報活用能力の育成状況を把握するために作成した「情報活用能力チェックリスト」（約10項目）についても紹介し、日々の授業改善や校内研修で活用できるように提案します。

さらに、文部科学省初等中等教育局学校情報基盤・教材課長・寺島史朗様による指導・講評を踏まえ、今後の方向性について考える機会とします。

＜実践の様子＞

小学校

中学校



高等学校

今年度も、オンラインによる開催ですので、勤務校園から参加できます。多くの皆様のご参加を、心からお待ちしています。